

## ● 広島県が生産したダイレクト凍結受精卵の場合

※ガラス化凍結受精卵の融解は、この方法とは別の方法で行う必要があります。

### 1 準備するもの

15cm程度のピンセット

30～35℃の温湯

温度計

融解容器(プラスチックのカップ等)

ストローカッター

清潔な紙タオル等

アルコール綿花

タイマー

移植器

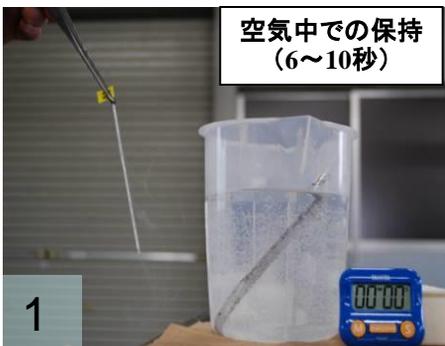
移植器用カバー



### 2 融解の手順

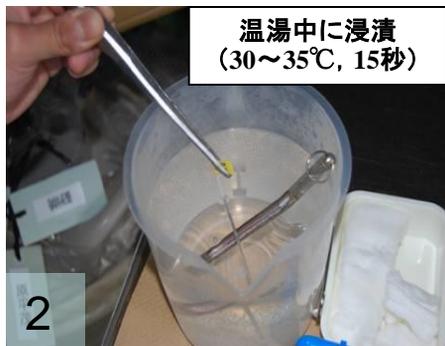
- ①手指を石鹼できれいに洗い、アルコールで消毒します。
- ②ストローカッターをよく絞ったアルコール綿で消毒します。
- ③**30～35℃の温湯**を用意します。(温度計で確認すること！)
- ④ピンセットを液体窒素で冷却し、ボンベからストローを取り出します。
- ⑤取り出したストローを、静かに**空気中で6～10秒間保持**後、**温湯に15秒間浸漬**します。(タイマーで正確に計測すること！)
- ⑥温湯からストローを取り出し、清潔な紙タオル等で水分を拭き取ります。
- ⑦カットする周辺をよく絞ったアルコール綿で消毒し、ストローカッターで垂直にカットします。
- ⑧使用する移植器の取扱説明に従ってストローを装着し、移植の準備を行ってください。

空気中での保持  
(6～10秒)



1

温湯中に浸漬  
(30～35℃, 15秒)



2

水分の拭き取り



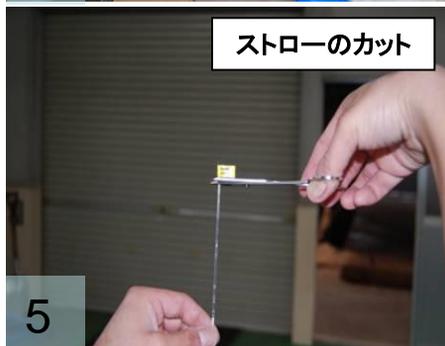
3

カット部分の消毒



4

ストローのカット



5

ストローの装着



6